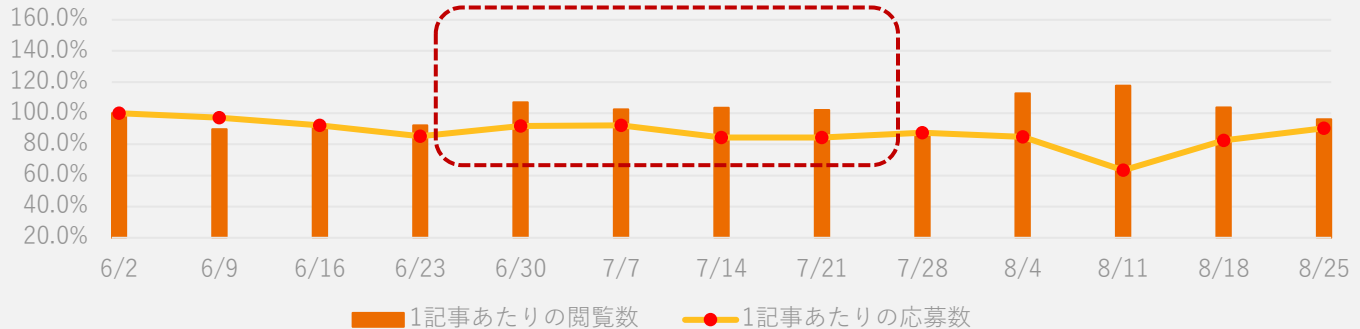


6月は例年応募が見込める時期のため、夏本番に向けた「仕込み」と「先行投資」の時期です。7月は夏採用のピーク、8月はお盆期間での応募数の停滞と秋採用に向けての準備期間となります。正社員は夏の賞与をきっかけに転職市場が再び活気づく時期であり、採用全般でも、季節要因に強く影響される期間のため、前半と後半で属性ごとのペルソナに合わせた広告訴求が必要となります。

昨年の傾向だと6月下旬から7月中旬にかけて1記事あたりの応募数は好調です。お盆時期は応募数は減るものの、1記事当たりの閲覧数は高くなります。正社員採用は夏の賞与明けに転職を考える層を早めに取り込みたい時期になります。

昨年の同時期の市場状況 6月から8月 (2025年)の動き



データについて：6月2日の閲覧数・応募数を100%として週毎に率で算出

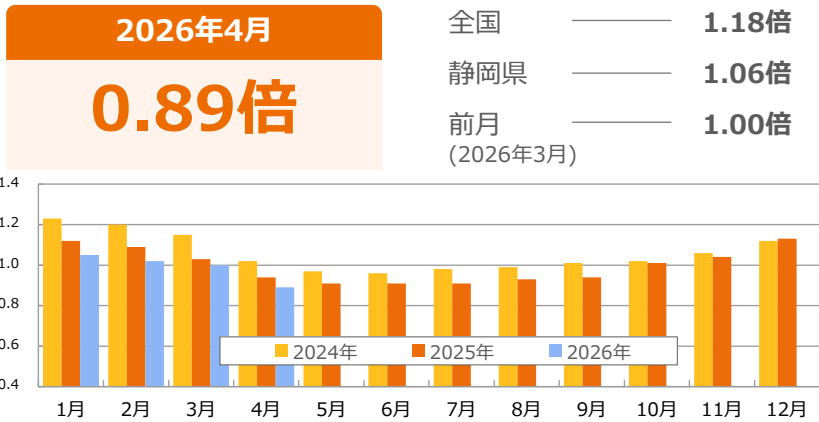
属性ごとの狙い目

		👶 6月		🌴 7月		📅 8月	
		1・2週目	3・4週目	1・2週目	3・4週目	1・2週目	3・4週目
アルバイト・パート	大学・専門学生 / 高校生	◎ 試験日程を踏まえて夏休みのレジャー資金確保のための動きが活発化。	○ 試験休み直前の「今すぐ稼げる」案件や、夏休み限定の短期に応募が集中。	○ テスト準備で忙しくなる一方夏休みに向けて「短期」や「高時給」の条件を探し始める。	◎ テスト終了後から一気に活発化。即日勤務可能な短期案件や、フェス・レジャー関連のイベント業務に人気集中。	○ 今すぐ稼ぎたいニーズが活発化。即日勤務可能な短期案件や、フェス・レジャー関連のイベント業務に人気集中。	◎ 前半に遊びすぎた層が焦って動き出す時期。また、9月以降を見据え、中長期の「イトを探し直す動きも活発化。
	フリーター	◎ 今の職場での夏のシフト増減を予測し、より好条件な場所を探し始める動きもあり。	○ ボーナス時期の社会人を見て、正社員登用ありの案件や高時給案件を探す動きもあり。	○ 夏限定の高時給案件が出揃うため、条件の良いものを吟味。かけもち用の短時間案件の需要あり。	◎ 高時給の短期バイトへの応募が加速。求人数も増えるため、採用側はスピーディーな対応が求められる。	△ 夏のイベントやリゾート、繁忙期の短期・単発アルバイトでリッチに稼ぎたいニーズあり。既に仕事に就いている期間でもある。	○ 短期バイトが一段落し、「9月からの長期ワーク」を探し始める時期。「そろそろ正社員に…」と意識が変わりやすい時期でもあり。
	主婦・主夫	◎ 春の行事が終わわり、腰を据えて働ける長期パートをじっくり比較する動きがあり。	○ 子供の夏休み中も「シフトの融通が利くか」を重視して探す動きがあり。	○ 夏休みが近づく中旬に向けて徐々に動きが鈍化。	△ 子供の夏休み開始に伴い、動きが鈍化。お盆明けや9月からの勤務を見越した情報収集にシフト。	△ 子どもの夏休みや帰省、お盆の家族行事が優先となり、求職活動は一時的にストップ。	◎ お盆明け、夏休みの家計の出費を補うため、働く意欲が急上昇。9月スタートを視野に動きが加速。
正社員・契約社員	◎ ボーナス支給を待ちつつ、転職サイトの登録やスカウトを待つ方が増える時期。	◎ ボーナス支給・金額確定を機に、退職決意と具体的な応募が促進。	◎ 賞与支給直後のため、退職・転職に向けた動きが活発化。10月入社を目標にした層の動きもあり。	○ 賞与額への不満から突発的に動き出す層も一定数存在。	◎ 現職の夏季休暇（お盆休み）を利用し、家でじっくり求人と比較検討。夏のボーナス支給額に納得がいかなかった層が動き出す時期。	◎ 10月の下半期スタートに向け、休職中に決意を固めた方が応募活動へ進む時期。	

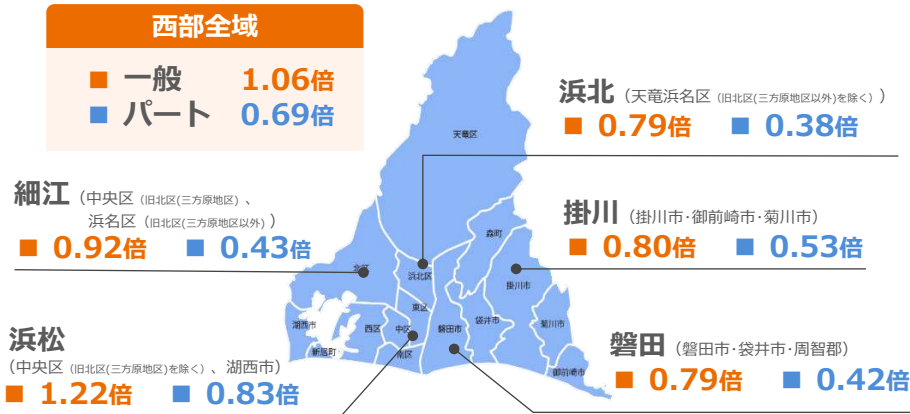
※評価基準…属性毎の求職者が動く時期を「◎」「○」「△」で評価しております



西部地区 有効求人倍率



西部地区 地域別有効求人倍率



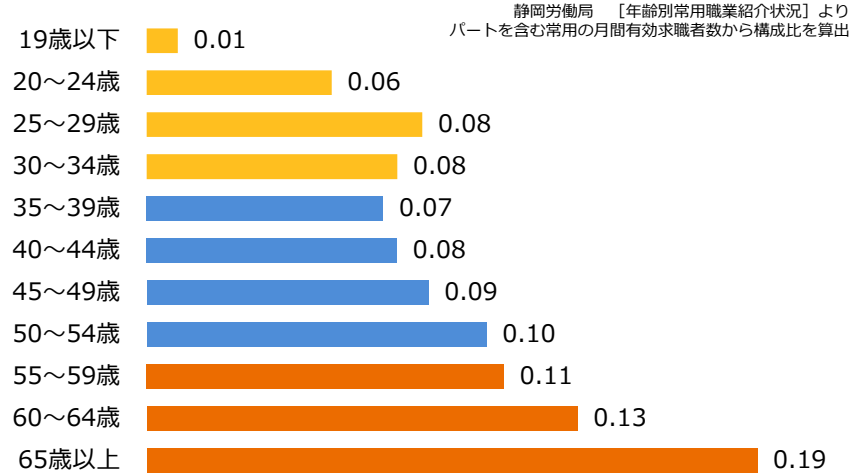
有効求人倍率

求職者1人に対する求人件数。倍率が1を超えるということは、求職者数よりも求人件数が多い(=採用難)ということを表す
※県全体の有効求人倍率は季節調整値(季節要因による調整をした数字)だが、地区別の有効求人倍率は、季節調整を行っていない数値

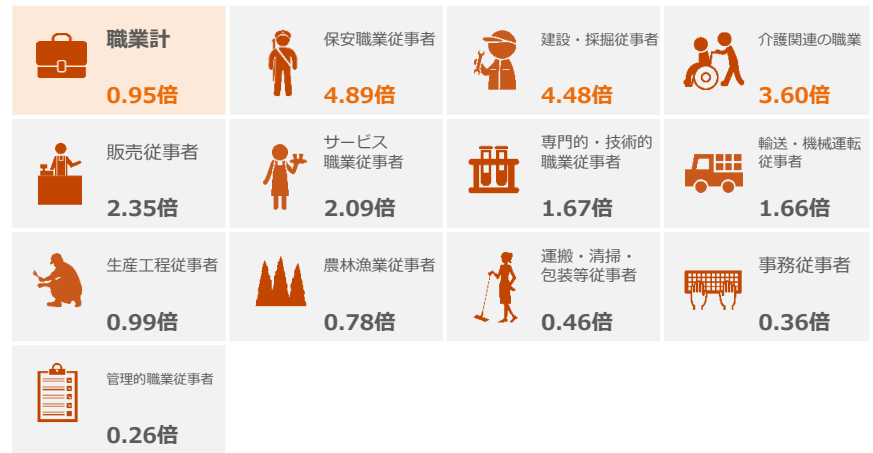
データ出所

職業安定所が毎月集計のうえ、翌月末に前月の数値を発表

静岡県 年齢階級別月間有効求職者数 (構成比)



静岡県 職種別有効求人倍率



静岡県労働局 [求人・求職バランスシート(常用+常用的パート)] より
※職業分類は厚生労働省の分類により営業職は「販売の職業」に含まれ「職業計」には分類不能の職業などを含む。